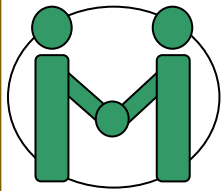
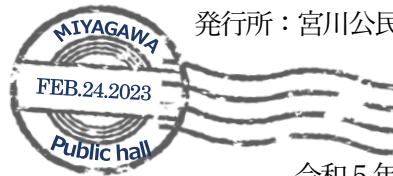


花のさと まほろばのさと



宮川

まちづくり協議会だより



発行所：宮川公民館 〒917-0223

福井県小浜市加茂 2-17-2

電話 0770-57-1201

F A X 0770-57-1990

令和5年1月31日現在（前月比）

【世帯数】251軒（±0）

【人口】668人（-1）

男320人（±0）女348人（-1）

2/19
(日)

楽しみながらたくさん学んだよ 「チームdeかるた」大会



▲福井県でも5人しかいないA級公認読手(どくしゅ)=札を読みあげの人・北村久美子さんの美しい読唱で競い合う、贅沢で貴重な体験ができました。ご指導くださった「沖の石」の皆さま、サポートくださった皆さまありがとうございました。



「沖の石」の皆さんの指導による練習風景。

▲かるたは「礼に始まり礼に終わる」

▼基本的なことからしっかりと学びました。

2月19日に、宮川公民館において2年ぶりにかかるた(百人一首)大会が開催されました。宮川地区では令和元年度に二十数年間途絶えていた「かるた大会」が復活し、翌令和2年度も継続して開催されて定着化が図られました。
しかし、昨令和3年度から子ども会主催行事として開催予定するも、コロナ禍となり残念ながら開催を見送りました。2年ぶりのかるた大会に、2年生から4年生まで6人の児童が参加しました。かるたを初めて体験する児童もあり、小浜市カルタ協会「沖の石」様にお



世話になり、日曜日ごと計3回の練習を重ねて大会に臨みました。思考が柔軟な児童の上達が目まぐるしく、わかりやすい丁寧な指導のおかげで大会を迎えることができました。
試合は宮川ルール、計40枚の札でおこない、2人で1チームになり「み」「や」「川」3チームのリーグ戦を展開しました。スタートしたばかりの宮川っ子たちはみんな頑張り屋さんで、良い指導者に恵まれてたくさん学びが体験できたと思います。
来年も頑張りましょう。

ものざね物実の芽立ち良し「今年も豊作間違いなし」

2/6
(月)

加茂神社 上の宮 オイケモノ神事



拡大

豊作祈願口上の儀

左から 氏子総代長・前野 伸吉さん 代表区長・前野 勝哉さん 保存会長・前野 紘一さん

オイケモノ（芽立ち）神事とは
旧暦の1月16日に営まれている。
古来8世紀・平安時代（1300年
超前）から続く全国的にも珍しい貴
重な民俗行事。
7種類の物実（ものざね）を地中
に1年間埋めて、木の実の発芽状態
でその年の作柄を占うもの。
【保存会発行の神事録を参考】



上段左から牛の舌餅・干し柿
カヤの実・ドングリ
下段左からトコロイモ・クリ
シの実・ギンナン

7種類の物実
を「牛の舌餅」
で挟み木箱に
納める



種入れの儀

旧暦の1月16日にあたるこの
日青空の下、加茂区・加茂神社の氏
子による「上の宮オイケモノ神事」
が厳かに滞りなく営まれました。
感染症対策が図られ、最小限の
人数で、一部の神事が簡略化され
ました。関係者の皆さまお疲れ様
でした。
▼下記神事日程参照▼

- 神事日程
- 社務所にて「種入れの儀」
 - 舞堂拝殿にて「御幣振りの儀」「祝杯の儀」
 - 上の宮道中にて第一回目の「弓打ちの儀」
 - 上の宮道中にて「大声叫びの儀」
 - 上の宮にて「同御神酒杯」「百万石」餅花まき
 - 第二回目の「弓打ちの儀」
 - 御神木前にて「一同拝礼」
 - 「旧埋納箱取起しの儀」「新埋納箱埋納の儀」
 - 社務所にて「豊作祈願口上の儀」

烏帽子姿で神事を務めた山本 桔平さん



▲ 御幣振りの儀



▲ 酒杯の儀



▲ 旧埋納箱取起しの儀



▲ 新埋納箱埋納の儀

木漏れ日がさす静寂の中
上の宮樺の御神木前において

無形民俗文化財

小浜市指定 平成三年二月二十日
福井県指定 平成六年五月二十日
国選抜指定 平成十九年三月七日



2/5
(日)

オイケモノ神事

御供餅「牛の舌」作り



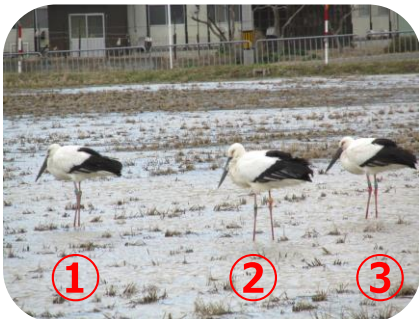
昨年初めて「オイケモノ神事」の取材をさせていただいた後、ありがたい「牛の舌餅」を頂戴しました。前日、社務所内で氏子当番の皆さんが作られる「牛の舌餅」。今年はずいとも作業を見たいと思いい、邪魔しました。

神事には欠かせない大切なお餅、準備した6升のもち米は2升ずつ蒸され、持参した餅つき機でこねられます。最初にお鏡餅が作られ、次に「牛の舌餅」作り。つぎたての餅が作業台に運



ばれると、小餅にして配ります。皆さん慣れた手つきで小餅をちぎり、棒で伸ばしながら次々と「牛の舌餅」が作られて、奘箱に入られます。作業の横では出来上がった「牛の舌餅」を整理し、上下に返して丁寧に仕上げられました。大切に伝承し守る姿と神様もお喜びでしょう。神事終了後は氏子に配られました。取材側にも配慮してくださりました。ありがとうございました。

春近し！コウノトリさん おかえり！ 地区内の目撃が増えてきました！



▲ 2/14 9:20頃 加茂区にて
加茂区 T・Tさん撮影

素晴らしいアングル！

足環バッチリ！どこで生まれたか、スマホで簡単に確認できるアプリがありますよ。

1/29 国富地区に2年連続で営巣したペアが帰ってきました。

他にも宮川地区では

2/13 12:20頃

本保区にて

2/17 14:30頃

大谷区にペアが飛来
3年連続のヒナ誕生が期待されます。

優しく見守りましょう！



▼ 短歌をお寄せくださいました。季節や情景、思いをくみ取ってくださいと幸いです。

しろき
白きもの 天よりあまた 降り来たり
去年の 行ひ 洗ひ流す如
K・N

こうばい
紅梅の 蕾やうやく 膨らみて
小躍りしたき 春の足音
K・N

まど そと
窓の外 ぱつと輝く月明り
明日は満月 田んぼを照らす
I・K

てづくり
手作りの 小物作りて配るとか
気比さん参りし 婦人笑へり
I・K



おしらせ



先月1月号から3回に分けてご案内
4月から「公民館」は
「コミュニティセンター」に
生まれ変わります！ その2



令和5年4月から「宮川公民館」を
「宮川コミュニティセンター」として、社会教育に
加えて、まちづくりの拠点であることを明確化します。

Q. コミュニティセンターになると、利用料がかかる のですか？

A. 各部屋に使用料を設定し、有料で貸館をおこな
いますが、現在利用されている地区の団体やサークル
などは、原則これまでどおり無料で利用できます。

Q. コミュニティセンターになって施設に変わることが ありますか？

A. コミュニティセンター化に併せて、4月から施設で
Wi-Fi を利用できるように準備しています。
オンラインを利用して、これまでできなかった
使い方ができるようになる予定ですので、
ぜひご活用ください。

その他 4月から名称が一部変更となります。
公民館長はセンター長に（主事2名は変更無し）
公民館運営審議会はコミュニティセンター運営審議会に
社会教育法規定から地方自治法に基づいた新規定となります。



3月の主な行事予定

- 2日(木) 宮川みんなで元気教室
午後1時30分～宮川公民館・会議室
- 5日(日) いずみの会「生け花教室」
- 11日(土) 「美やが和子ども図書」開放日
- 12日(日) 春を感じる寄せ植え教室
10:00～宮川ふるさと館・体育館
- 14日(火) 小浜美郷小学校 卒業証書授与式
- 14日(火) すこやかクラブ(100歳体操)定例日
10:00～宮川公民館・会議室
- 16日(木) 宮川みんなで元気教室
- 24日(金) 宮川保育園 卒園式
- 24日(金) 小浜美郷小学校・修了式
- 26日(日) 「美やが和子ども図書」開放日



以下は2/21 現在開催が未定です。

- *新旧区長・運審・まち協公民館合同会議
- *いずみの会役員会

公民館学級講座 共催：宮川まちづくり協議会

春を感じる“寄せ植え教室” 開催のお知らせ



心を和ませてくれる花たちで

“寄せ植え”を楽しみましょう！

講師：日本フラワーデザイナー協会本部講師
松川 知香子さん

日時：令和5年3月12日(日) 午前10時～

場所：宮川ふるさと館・体育館

参加費：1,500円(鉢・土・苗代含む)

まちづくり協議会から一部補助

定員：先着15名様

申込締切日 3月5日(日)

お申し込みはお電話で

宮川公民館 ☎57-1201

詳細はチラシをご確認ください



美やが和子ども図書 M 司書 おすすめ本 寿命図鑑

やまぐち かおり【絵】 いろは出版【編著】

「みんな、いつか、死んでしまう」

13カテゴリー（動物/海の生き物/鳥/昆虫/植物/食べ物/
モノ/機械/日本人/世界の人/からだ/建築物/天体）にわ
けて、324個の寿命とそれにまつわるエピソードを、やまぐ
ちかおりさんの“ゆるかわ”なイラストを使って説明した絵
本のようなかわいい図鑑です。

編集者：川北亜紀さんのおもしろくてわかりやすい解説と
“豆知識”は、新しい発見がいっぱい。

M 司書のオススメは食べ物と天体の寿命。

日常的な食べ物の鮮度や旨味を保つ方法は、なるほどと
役立つこともいっぱい。非日常的な天体の計り知れない年
月を想像して、宇宙は神秘的で偉大だと感じました。

「寿命」というテーマをもとに、いろいろなものに
興味をもてるきっかけになる1冊だと思います。

老若男女のみなさまに

読んでいただきたい1冊です。



3月の休館日

6日(月)、13日(月)

19日(第3日)・家庭の日、20日(月)

21日(火)・春分の日、27日(月)

